

難病患者へ理解を 県教育庁にDVD

山口県のNPO法人

難病患者の支援に取り組む山口県のNPO法人「みらいプラネット」の有富健理事長が10日、県教育庁を訪れ、啓



米田教育長にDVDを手渡す有富理事長(右)

発ドラマのDVDを米田進教育長に手渡した。寄贈したのは450枚で、県内の全小中学校などに配布される。

DVDは、血管がねじれる「難治性血管奇形」を患った少女が周囲の偏見に苦しみながらも、理解者の支えで前向きに生きるようになるという物語。NPOが東京大学の映画サークルの協力を得て、昨年春に作成した。小中学校の授業で活用してもらおうと、全国に寄贈している。

自身も難治性血管奇形を発症しながら、山口県職員として働いている有富理事長は「難病患者は闘病の大変さと同時に、周囲に理解されないつらさに悩む。苦しんでいる人を思いやる心を、子どもたちに養ってほしい」と話した。

(佐藤朋紀)

秋田さきがけ

平成29年11月11日

朝日新聞(秋田県)

平成29年11月20日



難病患者への偏見なくして

病気や症状が見た目では分かりにくいことから起る差別や偏見をなくして――。難病患者を支援する山口県のNPO法人「みらいプラネット」(山口県難治性血管奇形相互支援会)の有富健理事長らが秋田市の県教育庁を訪れ、啓発DVD450枚を秋田の小中学生向けに寄贈した。

EDS/NPO 小中学生向けDVD寄贈

有富理事長は山口県職員。2001年、血管がねじれたり絡まったりする難病「難治性血管奇形」を発症し、入退院をくり返した。だが、外見では病状が分かりにくいため、職場では怠けていると誤解され、周りの無理解に苦しんだ。

「病気や障害のある人が誤解されたり、偏見を持たれたりしないよう、弱者への理解を広めたい」と考え、11年に「みらいプラネット」を設立。15年に啓発DVDづくりに取り組ん

著名人が応援の言葉

だ。DVDのタイトルは「咲き誇れ、強く Irreplaceable (かけがえない、の意味)」。啓発ドラマや著名人の応援メッセージなどが収められている。

ドラマの主人公は、難病の少女。友だちに病状を理解されずに悩むが、養護教諭らに励まされ、前向きに生きようとする姿が描かれている。メッセージには、卓球の石川佳純選手や歌手のはいだしyoungさんら、約140人が登場する。

有富さんは全国でDVDとドラマの原作となった自著を寄贈しており、秋田は5番目。DVDは県内の全小中学校と特別支援学校、図書館などに届けられる予定だ。

有富さんは「DVDを見た秋田の子どもたちが、弱い立場の人を思いやり、理解しようとする心を養ってほしい」と話している。



難病への理解を呼びかける啓発DVDを寄贈する「みらいプラネット」の有富健理事長(右) 秋田市の県教育庁

(渡部耕平)